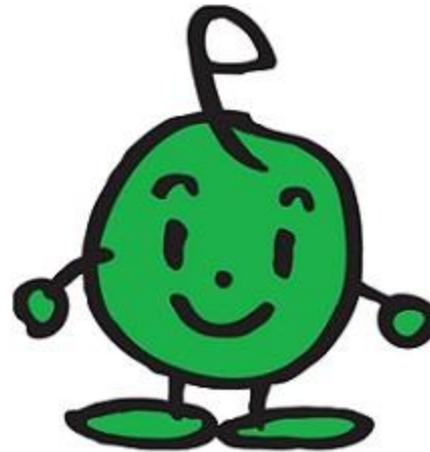


# 『こどもエコクラブ』について



2023年8月24日



Japan Environment Association  
公益財団法人日本環境協会

(こどもエコクラブ全国事務局)



## こどもエコクラブとは

幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。自然観察や農業体験、リサイクル活動といったさまざまなエコ体験を通して「身近な自然を大切に思う心」と「問題解決のために自ら考え行動する力」を育むことを目的としています。

平成7年度に環境省事業としてスタートし、平成23年度からは日本環境協会の活動として実施しており、これまでに約290万人の子どもたちが参加しています。平成26年9月には環境教育等促進法に基づく環境教育等支援団体の指定を受けました。

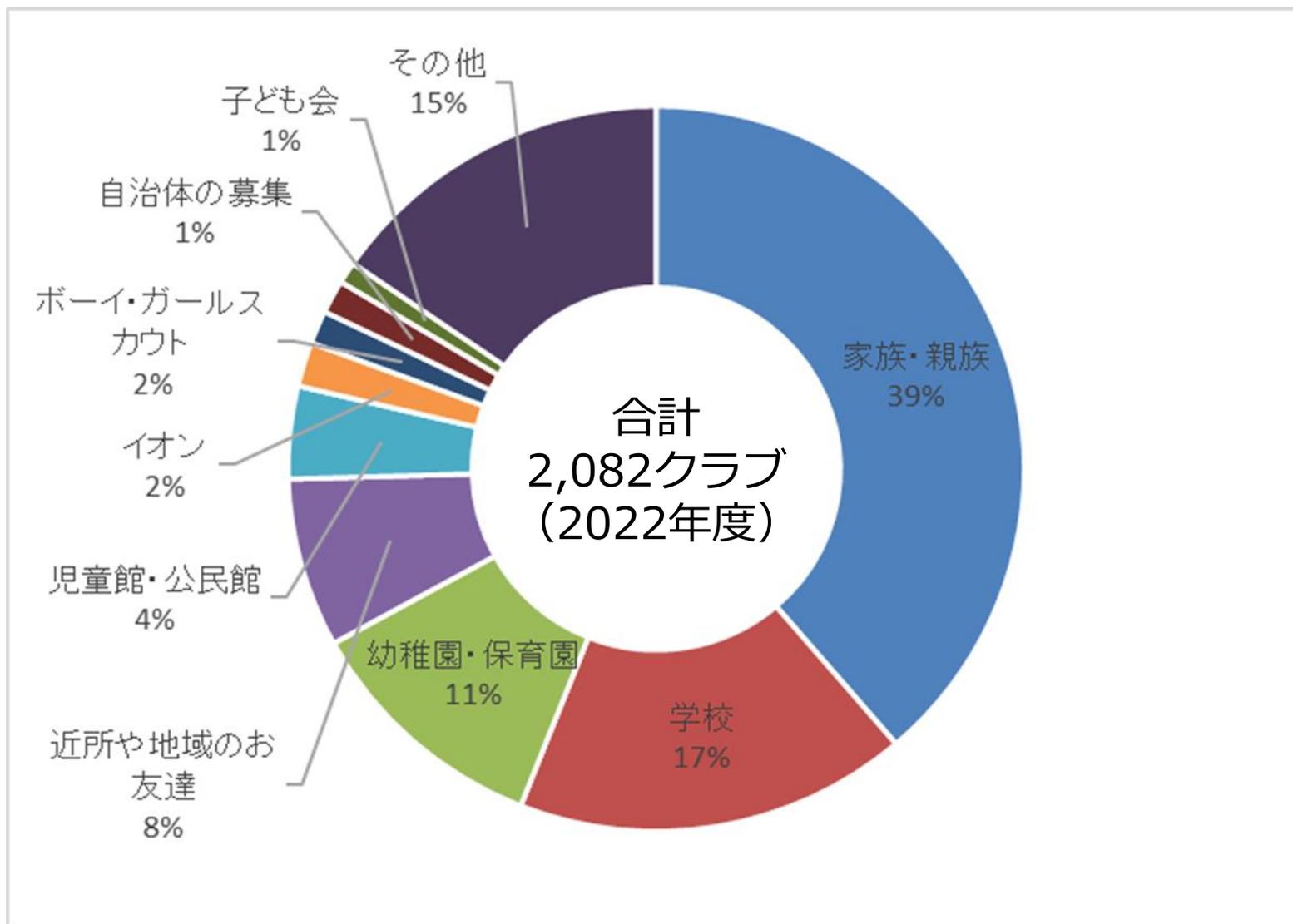
現在全国で約2,100クラブ、9万2千人の子どもたちが、企業・団体・地方自治体のサポートを受けながら、地域に根ざした活動を続けています。（後援：環境省）



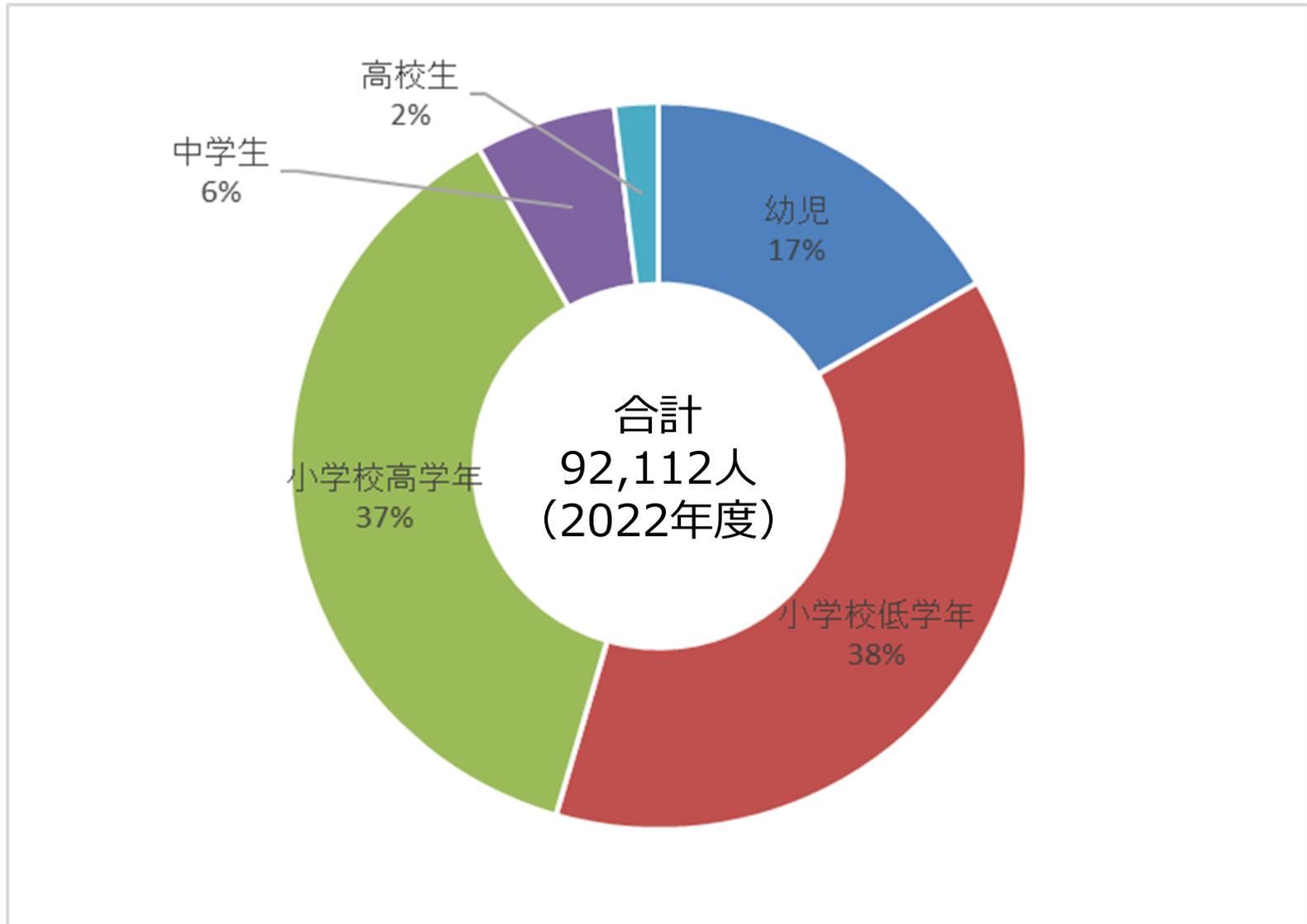
こどもエコクラブイメージキャラクター  
「エコまる」とその仲間たち



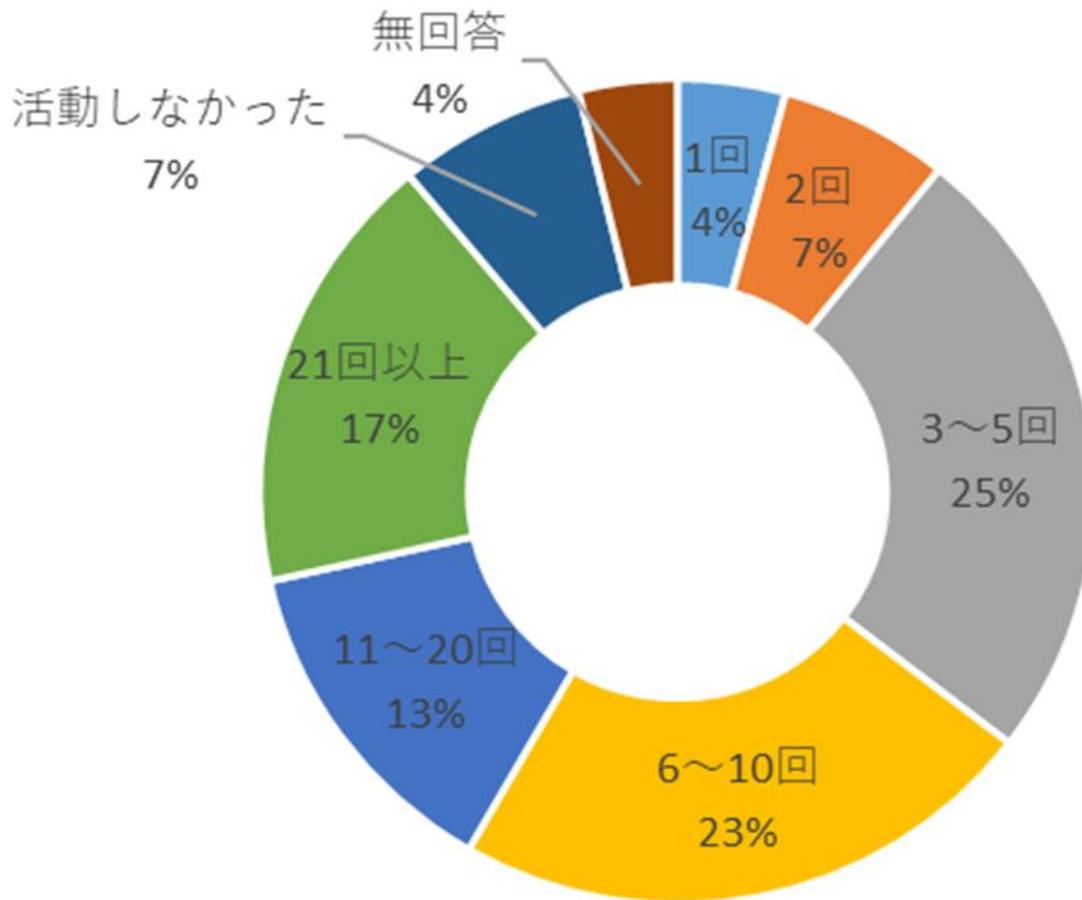
# こどもエコクラブ形態別登録割合



# メンバーの年齢層別割合



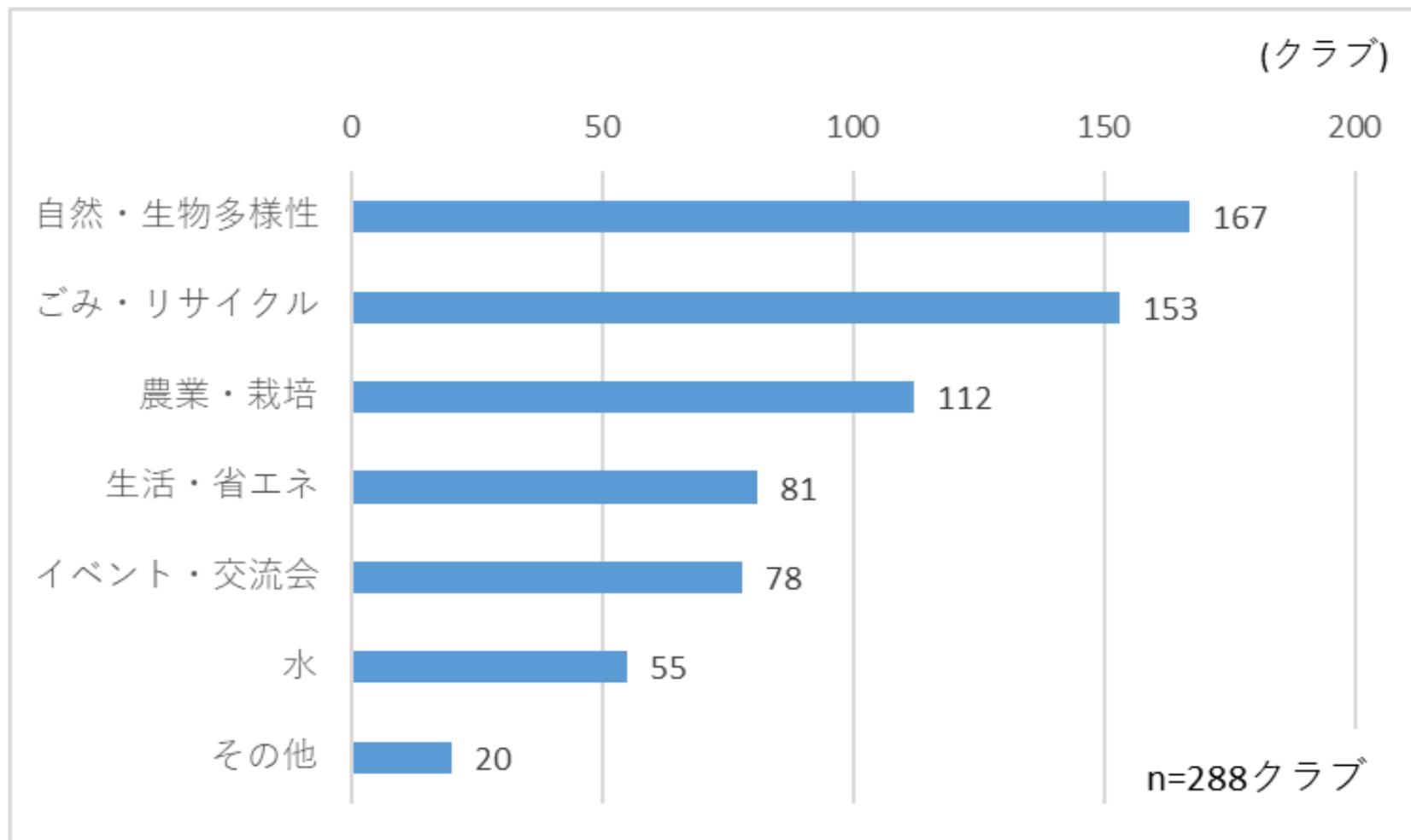
# 年間の活動回数



2022年度サポーターアンケートより（回答数288）



## クラブの活動分野



2022年度サポーターアンケートより（回答数288）



# こどもエコクラブの活動

約2,100クラブ、9万2千人の子どもたちが毎年こどもエコクラブに登録し、興味関心に応じて様々な環境学習・環境活動を全国各地で実践しています。SDGsに関連づけられるものも数多くあります。

## クラブの活動

13 気候変動に  
具体的な対策を



地球温暖化防止に関するワークショップを実施。国際的な交渉を素材にした朗読劇をつくり、上演することで理解を深めた。自分たちにできることについても話し合った。



Jリーグの試合会場で「スマートムーブ」の啓発活動を行い、公共交通機関での来場を呼びかけた。小学校へのチラシ配布で集客にも貢献。

12 つくる責任  
つかう責任



環境ラベルの一つであるエコマークについて学び、身の回りのどんなものについているのかを調べた。周りの人にも呼びかけ、環境に配慮した消費活動に関心を深めた。



小学校で空き缶、テトラパック等の資源を回収。ポイント制度を設けてモチベーションを高めており、その取り組みは地域にも広がっている。

15 陸の豊かさも  
守ろう



小中高校生で地域の川を守り育てる活動の継続。週に1度は川に入り魚や水生生物をとってモニタリング。外来魚は、命を無駄にしないようにみんな食べている。



減農薬の田んぼや畑で田植え・種まき、草取り、稲刈り・収穫等の作業を体験。スーパーで収穫物の販売も行い、循環型農業の広報・普及にも力を入れる。



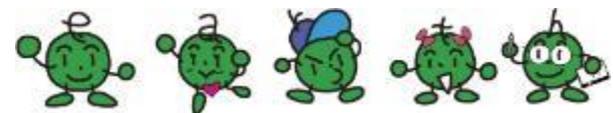
## 【ビジョン】

だれでも参加できるこどもエコクラブが、学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

## 【ミッション】

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもの「未来を創る力」を育てる
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する

**持続可能な社会を担う人づくり**

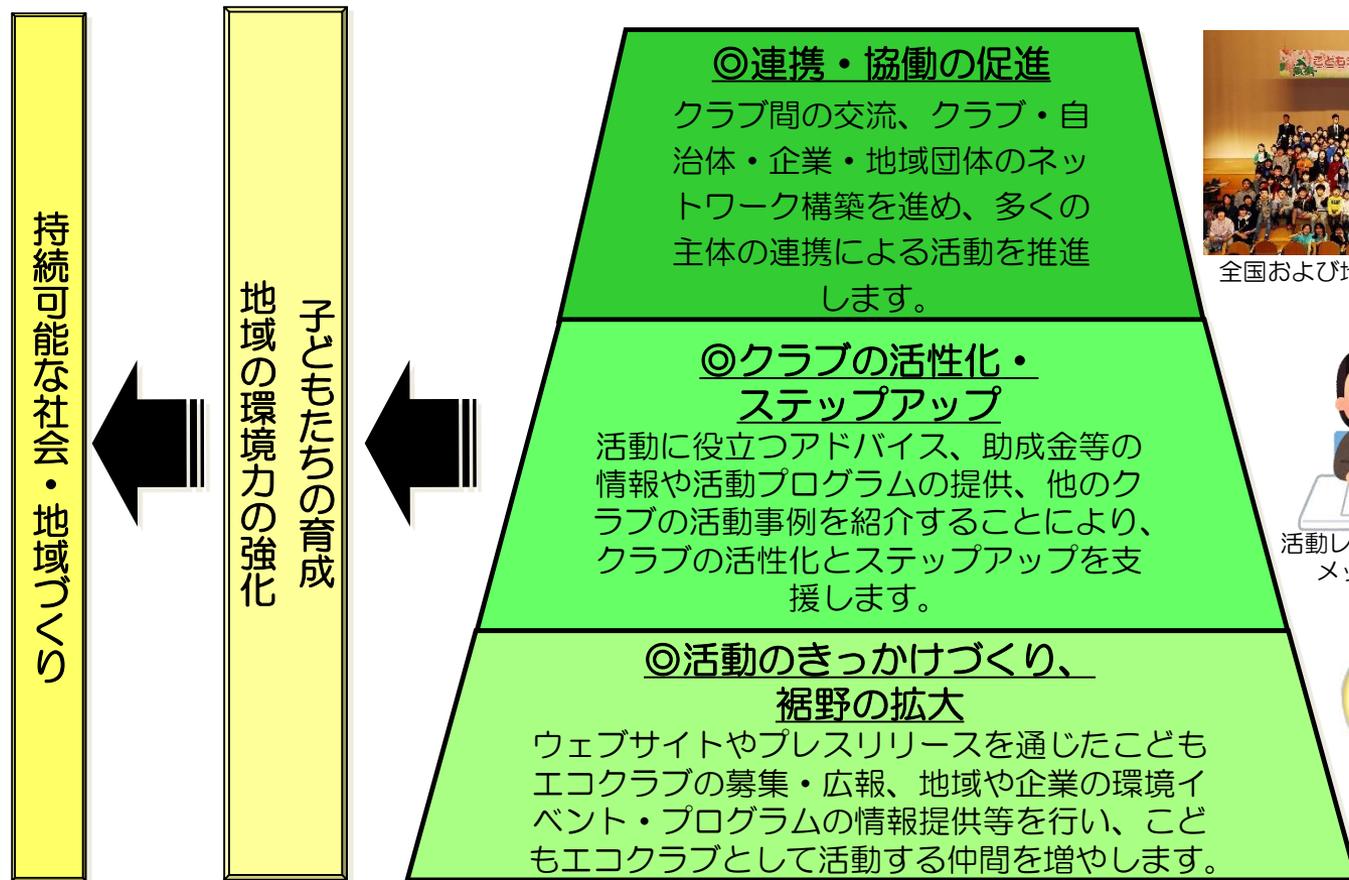


# こどもエコクラブのめざすもの

こどもエコクラブ事業は、子どもたちの育成だけでなく、全国各地にいる多くのクラブが企業や自治体との連携・協働のステークホルダーとなることをめざしています。

全国事務局では、地域事務局として登録している自治体、事業を支援する企業・団体とともに、子どもたちの主体性や自主性を尊重しながら、それぞれのステージに応じた個々のクラブへのサポートなどを行っています。

[サポート例]





企業名：株式会社プロントコーポレーション

活動内容：同社従業員と子どもエコクラブによる自然災害からの復旧支援

2018年度の台風21号や2019年度の台風15号で大きな被害を受けた大阪府や千葉県の被災地で、地域のクラブと同社社員とで、下草刈りや折れた枝・倒木などの片付けを実施。



団体名：こくみん共済 coop 〈全労済〉

活動内容：防災をテーマにした活動プログラムの開発、教材の制作・提供

自然災害で電気・水道・ガスなどのライフラインが使えない時に役立つ方法や工夫を体験するとともに、日々のエネルギーの使い方を見直すプログラムを開発、ワークブック型の教材を制作・提供。



# こどもエコクラブ全国フェスティバル

## ■実施目的

全国で地域に根差した環境活動を実践している子どもたちが、それぞれの環境活動の紹介を通じて相互の交流を深めるとともに、一般の参加者等にそれらの情報を広く発信したり、最新の環境保全技術や世界の環境の現状を学んだりすることで、子どもたちが環境に対する責任と役割を理解し、環境保全活動への参加の向上及び環境問題を解決する力を育む。

■開催時期 例年3月下旬（春休みの土日） ※今年度は2024年3月24日（日）実施予定

■会場 国立オリンピック記念青少年総合センター等  
【2020、2021年度はオンライン、2022年度はハイブリッドにて実施】

■主催 公益財団法人日本環境協会（こどもエコクラブ全国事務局）

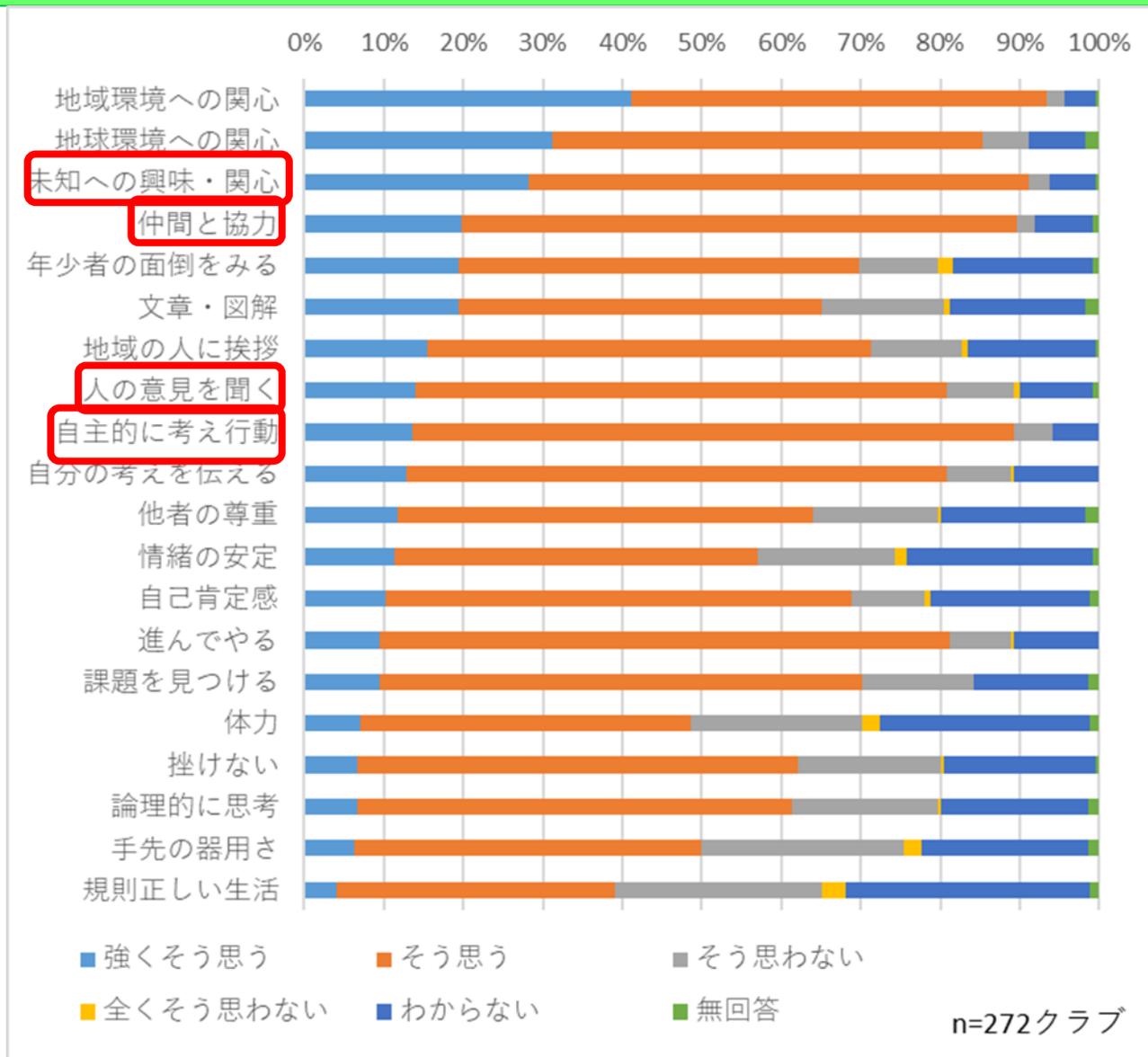
■後援 環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁 他

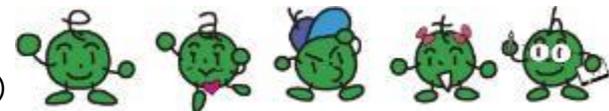
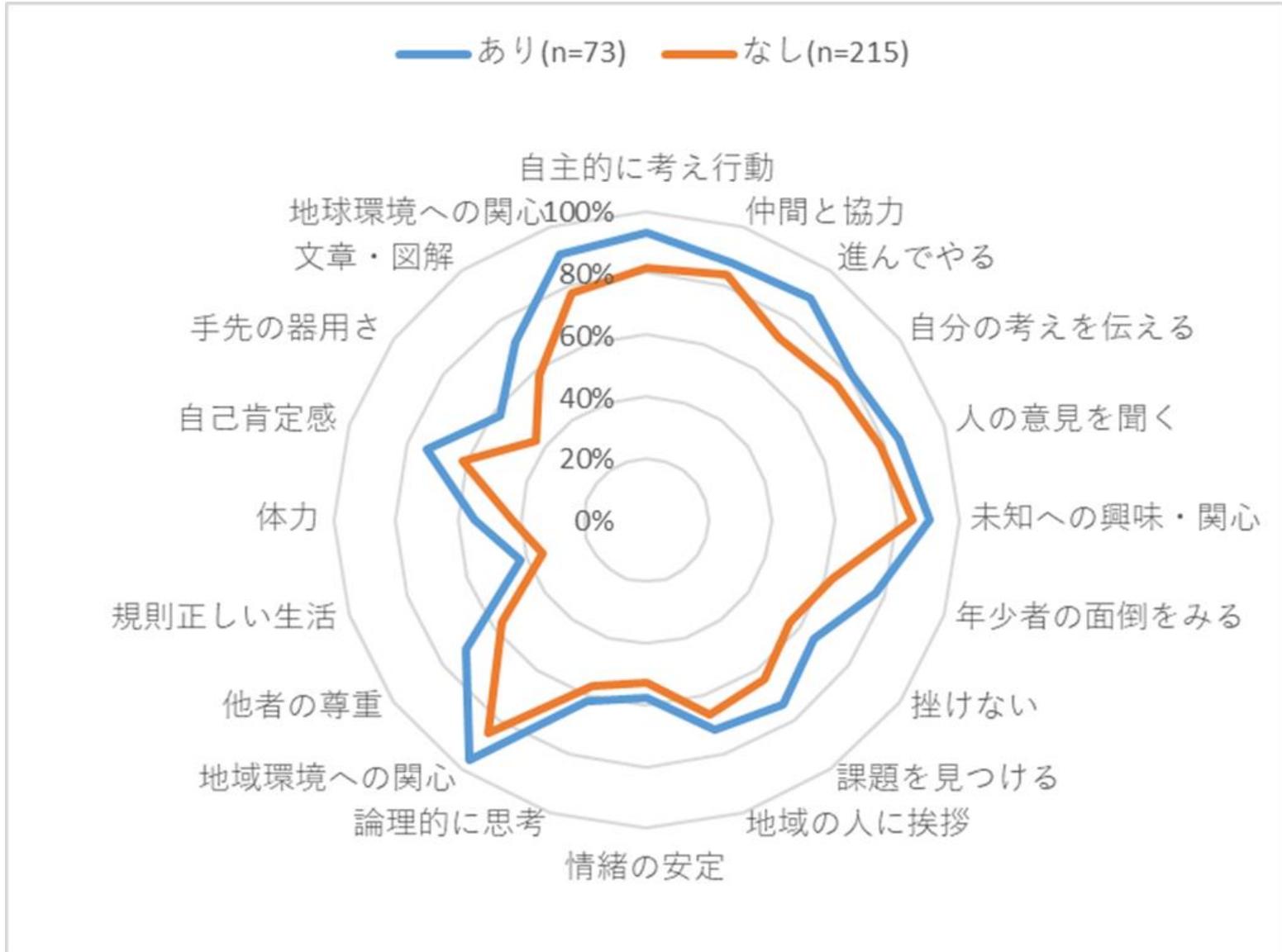
■特別協力 こくみん共済 coop〈全労済〉 他

■参加予定数 450名



# 子どもたちの成長





### MIYASHIROエコ☆スターズ（埼玉県宮代町）

活動年数：14年

#### 【クラブの特徴】

- 地元の中学生在が仲間と一緒に街のごみ拾いからスタート。
- **学校長や教育委員会の応援**を得て活動の環が広がり、現在は町のウェブサイトを通して広くメンバー募集を行っている。
- **発足時のメンバーの保護者**がずっとクラブの世話役を務めている。

#### 【主な活動】

- 定期的なごみ拾い、エコポスターコンクール、地元食材を活用した調理教室などを企画・実施。
- **必要な資金の調達**もリーダーの中学生を中心に全て子どもたちが行う。

#### 【成果】

- クラブの活動は**町を巻き込んだイベントに発展**。町長や教育長も参加するようになった。
- 小学生は中学生の姿を見て自覚が芽生え、**次のリーダーとして育っていく**。



### 品川区立山中小学校おやこエコクラブ（東京都品川区）

活動年数：13年



#### 【クラブの特徴】

- 全校児童がメンバーとして登録されているが、活動は主にPTA(おやじの会)が担う。
- コミュニティ・スクールであるため、地元の企業や商店の協力も得やすい。

#### 【主な活動】

- 土曜日を中心に、校舎屋上での野菜栽培、学校周辺の美化
  - ・ 緑化、地域の歴史や文化を学ぶ活動などを実施。
- 全校集会や委員会活動の時間も活用している。
- コロナ下では家庭でできるSDGs活動に取り組む。

#### 【成果】

- 環境ラベル「エコマーク」を学校や家庭、町の中で探すプログラムに全校児童で取り組んだことが評価され、小学校として初めて「エコマークアワード」優秀賞を受賞。
- タブレット端末を効果的に活用。



# 各地のこどもエコクラブの活動事例（3）

## 玉一アクアリウム（兵庫県神戸市）

活動年数：11年

### 【クラブの特徴】

- 総合学習で地元の明石川の生き物について学んだ児童からの「もっと知りたい!」という要望に応え、講師の方をお願いして活動が始まった。
- 採集した生き物を多くの子どもたちに見てもらうために、校内に水槽を設置。
- 小学校卒業後も継続するメンバーもあり、現在は**大学生から小学3年生まで幅広い年齢層**で活動している。

### 【主な活動】

- **週に一度は川に入り**魚や水生生物を採取してモニタリング調査を行う。
- 絶滅危惧種・在来種は調査後リリース、特定外来生物は肥料に加工したり、自分たちで調理して食べたりして、**命を無駄にしない**ようにしている。

### 【成果】

- 外来種が目に見えて減少し、**在来種・希少種が増えてきている**。
- 採取した生き物の写真に子どもたち自身が描いたイラストを添えた**オリジナルの図鑑**を制作、神戸市のウェブサイトに掲載された。



## 各地のこどもエコクラブの活動事例（4）

### 香美市こどもエコクラブ（高知県香美市）

活動年数：13年

#### 【クラブの特徴】

- 小学校の元校長先生が、中学生になった教え子の「活動を続けたい」という要望に応じて地域で結成。地域でクラブをつくって活動する手法にシフトした。
- 市内の5つの小学校からメンバーが集まり、**土日を中心に公民館を借りて活動。**

#### 【主な活動】

- 高知大学の先生の協力を得て、市内を流れる物部川の源流部にある森林の保全活動を続けている。
- **地球環境・SDGsを意識**し、夏を涼しく過ごす方法、食品ロス削減のための取組などをメンバー自身が考えて実行。
- 活動の振り返りである**壁新聞づくりを重視**。2~5人のグループに分かれて話し合い、役割を決めて進めている。

#### 【成果】

- 壁新聞コンクールで**2度の環境大臣賞**受賞。
- 東京のシンクタンクに協力して、CO<sub>2</sub>削減をテーマにした**ボードゲーム型教材を開発**。
- 自治体と協働で市民を対象とした**普及啓発イベントを企画**
  - **開催。**

